

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成30年7月19日 (2018.7.19)

【公開番号】特開2017-151810(P2017-151810A)
 【公開日】平成29年8月31日 (2017.8.31)
 【年通号数】公開・登録公報2017-033
 【出願番号】特願2016-34758(P2016-34758)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/10 (2006.01)

G 0 6 N 99/00 (2010.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/10 Z

G 0 6 N 99/00 1 2 0

【手続補正書】
 【提出日】平成30年6月6日 (2018.6.6)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 1 6 】

図 5 は、集合分割問題の概要を説明する図である。図 5 は、 S_{401} で、分割対象の集合 $\{1, 2, 3, \dots, 7\}$ の部分集合の候補として 9 個の部分集合 S_j ($1 \leq j \leq 9$)、つまり S_1, S_2, \dots, S_9 の候補情報が取得された場合の係数 a_{kj} の例を示す図である。

図 5 の表の k 行は、分割対象の集合の要素 k を示す。そして、図 5 の表の j 列は、各部分集合 S_j を示す。図 5 の表の各列の斜線模様の要素は、その列に対応する部分集合が対応する集合の要素を含んでいることを示している。図 5 における集合分割問題とは、集合 $\{1, 2, 3, \dots, 7\}$ の各要素が丁度、1 回ずつ現れるように、部分集合を S_j の中から選択する問題といふことができる。図 5 の例では、正解は、 S_1 と S_7 と S_9 との組み、又は、 S_4 と S_8 との組みである。